

1. 概論
    - 1.1. 森林美学と景観生態学の関連
    - 1.2. 森林美学の系譜
      - 1.2.1. 森林美学の発展と展開（ドイツと日本での展開：造園学・森林風致計画へ）  
森林管理の基本は狩猟学の側面が強い（領主の狩猟が上手くできるような森造り  
= 野生動物管理）
      - 1.2.2. 古典、特に**土地純収益説** vs. **森林純収益説** 森林経理学論争の視点からー
      - 1.2.3. 北海道大学に於ける展開（新島・今田/伊藤・小関）
  2. 森林生理生態学の視点
    - 2.1. 森林美学の今日  
**Waldasthetik**  
**über Forstwirtschaft, Naturschutz und die Menschenseele**  
(森林科学、自然保護 そして魂の安らぎのために)  
Wilhelm Stölb 著 (ミュンヘン大学林学出身)  
2005 年刊行の紹介
    - 2.2. 自然に習う施業法へ  
……ドイツの造林学者 Gayer らの思想
    - 2.3. 経済性と「森林美」の追求の問題点
    - 2.4. 景観の樹木生理・森林生理生態学的基础
- 

座して森と同化せよ  
ほんの5分間でよい  
座って森に同化して  
森の静寂に  
耳を傾けること。  
木々の音、落ち葉を  
歩く虫の音、小鳥の  
会話。  
森を理解するには  
森と一体化すること  
森に抱かれることを  
体感すること！  
— Wilhelm Stölb
- 著者からのメッセージ  
(2005年10月2日 Freising にて)
3. 森林の「空間的規制」**Räumliche Ordnung**
    - 3.1. 秩序付け—Ordnung ist das halbe Leben（整理整頓がドイツ人の気質）
    - 3.2. 森林作業法（特に風雪害に耐性のある森造り）
    - 3.3. 日本人の森林（自然）観 —森林文化論への展開—  
筒井迪夫（東大名誉教授）…今田敬一教授との縁の紹介
  4. 森林の混交林化
    - 4.1. 針葉樹一斉林から混交林へ —生物多様性の視点—
    - 4.2. 混交林への誘導技術と空間的規制 —強度間伐と関連して—
    - 4.3. 森林風景「保育」のための基本原理
    - 4.4. 環境変化の影響の予測
  5. 森林景観の整備
    - 5.1. 森林純収益説と巨樹の保護 + 「古事の森」構想の紹介  
……森林自体の存在の生む価値とその高度化
    - 5.2. **フォレスト・スケープ**と実践
    - 5.3. 森林景観の整備  
……由田幸雄氏（林野庁・福島森林管理署の実践例から……  
堀 繁教授・香川らのフォレスト・スケープを紹介）
    - 5.4. 景観管理と侵入種 保全生態管理の視点
  6. 森林経理学の視点……（秋林幸男担当）
    - 6.1. 森林経理学論争と歴史
    - 6.2. ファウストマンの理論
    - 6.3. 再び・森林純収益説へ